

「ソーシャル・ファーム」セミナー

第3回

企業が障がい者を生かす仕組み

4月から開催しているオルタナ「ソーシャル・ファーム」セミナーも、いよいよ第3回目を迎えました。これまでの2回のセミナーでは、障がい者も健常者も、共に平等である社会実現に向けての取り組みを実例を交えてご紹介してきました。第3回の今回は、日本で初めて「手話で教える」ろう学校を設立した明晴学園理事の玉田さとみさんをお招きし、講演会とパネルディスカッションを開催します。

日時 2011年10月19日(水) セミナー 18:30—20:30(開場18:00) 交流会 20:30—21:00

会場 アイエスエフネットサポートトレーニングセンター (東京都港区赤坂7-1-16 日本生命赤坂第二ビル3階)

定員 60名 会費 一般:3000円

お振込先:三菱東京UFJ銀行 渋谷明治通支店 普通3985859 株式会社オルタナ
※クレジットカード決済も可能です。(オルタナ・オンラインショップをご利用下さい)
※お振込み手数料は、ご負担下さいませ。

※参加費は、事前お振込みとなります(交流会参加費込み)

●スケジュール

第1部 18:30 → 19:30

[休憩10分]

第2部 19:40 → 20:30

講演会
「障がい」をプラスに変える
玉田さとみ氏(学校法人明晴学園理事)

パネルディスカッション
「企業」と「障がい者」の関係を再考する
パネリスト:玉田さとみ氏、渡邊幸義氏(アイエスエフネットグループ代表)、
畑中稔氏(日本ケアフィットサービス協会理事長)
進行:森 撰(雑誌「alterna」編集長)

交流会(20:30 ~ 21:00)

●講師プロフィール

玉田さとみ氏

1962年東京生まれ。学校法人明晴学園理事。NPO法人バイリンガル・バイカルチュラルろう教育センター事業統括ディレクター。TBS情報キャスターを経て、放送作家としても活動している。次男がろう児と診断されたことをきっかけに「手話で教育するろう学校」の必要性を感じる。行政や教育界の壁を乗り越えて、2008年に東京都の教育特区として学校法人明晴学園を創設。



畑中 稔氏

NPO法人日本ケアフィットサービス協会理事長。「おもてなしの心」と「介助技術」を修得するサービス介助士資格の創設者。12年間で約8万人のサービス介助士を育成し、その学びはJR東日本、イオン、ドコモなど約700法人でも導入されている。



渡邊幸義氏

アイエスエフネットグループ代表、株式会社アイエスエフネット代表取締役。雇用の創造を会社の大義に掲げ、就労困難者の雇用に積極的に取り組んでいる。著書:「『未来ノート』で道は開ける!」「社員みんながやさしくなった」「社長のメモ」



お問い合わせ 株式会社オルタナ:03-6407-0266 お申し込み <http://www.alterna.co.jp/6559>

主催:株式会社オルタナ 協力:株式会社アイエスエフネット、NPO法人日本ケアフィットサービス協会